

講義名	英語で学ぶグローバルコミュニケーション(GSP・上級)			授業形態	
担当教員	中川 典子	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
			ナンバリング・コード	ENG226	

主題と概要

異文化コミュニケーションは1960年代のアメリカ合衆国で始まった学問的かつ実践的分野である。本コースの目的は授業中の英語学習活動を通して、異文化の状況で起こるコミュニケーション上の問題の原因を理解し、その解決法を探求し、文化的多様性に対する肯定的態度を醸成することである。

到達目標

本コースでは以下の能力を養うことを目標とする。

- (1) 英語で異文化コミュニケーションの理論と概念を理解できる。
- (2) クラスでのディスカッションや課題を通して自己と自文化に対する気づきを深めることができる。
- (3) クラスでのディスカッションや課題を通して異文化におけるさまざまな側面に対する気づきを深め、文化的多様性に敬意を表すことができる。
- (4) 様々な授業内活動を通して英語コミュニケーション力を身につけることができる。

本コースでは、英語そのものを学習することの目的ではなく、英語といコミュニケーションの手段を使って異文化間コミュニケーションの概念を学習し、理解することを目的とする。

提出課題

授業で配布するテキストの内容に準拠して担当者が作成したワークシートに取り組み等、さまざまな課題を提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

小テストの解答の解説をし、受講生が提出したワークシートの英語表現やスピーチの原稿を添削指導する。

評価の基準

(1) 課題 (40%)
(2) クイズ (20%)
(3) 発表 (20%)
(4) 定期試験 (20%)

* コースの評価は、上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも取り組まなかった項目がある場合は不合格となる。授業活動の詳細については、第1回目の授業で説明する。

履修にあたっての注意・助言他

(1) 受講にあたっては、高校レベルの基本的な英語力を有すること。
(2) 前掲のように、コースの評価は上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも取り組まなかった項目がある場合は不合格となる。
(3) 特別に認められる理由以外の15分以上の遅刻は欠席となる。コースの3分の1にあたる5回以上の授業を欠席すると定期試験の受験資格を失単位を取ることができなくなる。3回の遅刻で欠席1回となる。
(4) 教科書は当然、購入しているという前提で授業を実施する。教科書がないことにより生じる不都合は自己責任となる。
(5) 課題は必ずWord形式で提出すること。スキャンからの写真や小テストでの提出物は受理しない。
(6) 発表、授業開始直後の約10分間を使ってクイズを実施するので遅刻しないこと。欠席した場合のクイズの追試は実施しない。
(7) 教科書は解答が書かれた他人からもらったものは使用不可とする。
(8) 授業中の態度が悪く悪い、教科書を持って来ないなどの行為が認められた場合は、大げな減点となるので留意すること。
(9) 提出課題を含むすべての連絡事項はRyuka Portalのキャンパスクロスを通じて行うので、必ず確認すること。

*その他、授業に関する詳細については第1回目の講義資料で説明するので、必ず出席すること。

教科書

.Speaking of Intercultural Communication.	Peter Vincent	Nan'un-Do	2,200	9784523178408
---	---------------	-----------	-------	---------------

参考図書

その他

テキストの内容に準拠した担当者作成のワークシート等、適宜、授業中やRyuka Portalのキャンパスクロスを通じてを配布する。

授業計画

1. コースガイダンス、ペアワーク
(予習内容) テキストU1のlearning-upエクササイズとエッセイのリスニング練習・読解課題、次回のクイズの準備。(180分)
(復習内容) シラバスを読み授業の概要と進め方を理解しておくこと。(60分)
2. Unit 1 Communication: Reading & Exercises
(予習内容) テキストU1のディスカッション課題、次回のクイズの準備。(120分)
(復習内容) 授業で学習したエッセイの中の英語表現と内容を復習する。(120分)
3. Unit 1 Communication: ICC activity & Discussion
(予習内容) テキストU2のlearning-upエクササイズとエッセイのリスニング練習・読解課題、次回のクイズの準備。(120分)
(復習内容) 授業で学習した演習の中の英語表現と内容を復習する。(120分)
4. Unit 2 Culture: Reading & Exercises
(予習内容) テキストU2のディスカッション課題、次回のクイズの準備。(120分)
(復習内容) 授業で学習したエッセイの中の英語表現と内容を復習する。(120分)
5. Unit 2 Culture: ICC activity & Discussion
(予習内容) テキストU3のlearning-upエクササイズとエッセイのリスニング練習・読解課題、次回のクイズの準備。(120分)
(復習内容) 授業で学習した演習の中の英語表現と内容を復習する。(120分)
6. Unit 3 Nonverbal Communication: Reading & Exercises
(予習内容) テキストU3のディスカッション課題、次回のクイズの準備。(120分)
(復習内容) 授業で学習したエッセイの中の英語表現と内容を復習する。(120分)
7. Unit 3 Nonverbal Communication: ICC activity & Discussion
(予習内容) テキストU4のlearning-upエクササイズとエッセイのリスニング練習・読解課題、次回のクイズの準備。(120分)
(復習内容) 授業で学習した演習の中の英語表現と内容を復習する。(120分)
8. Communicating Clearly: Reading & Exercises
(予習内容) テキストU4のディスカッション課題、次回のクイズの準備。(120分)
(復習内容) 授業で学習したエッセイの中の英語表現と内容を復習する。(120分)
9. Communicating Clearly: ICC activity & Discussion
(予習内容) テキストU5のlearning-upエクササイズとエッセイのリスニング練習・読解課題、次回のクイズの準備。(120分)
(復習内容) 授業で学習した演習の中の英語表現と内容を復習する。(120分)
10. Unit 5 Culture and Value: Reading & Exercises
(予習内容) テキストU5のディスカッション課題、次回のクイズの準備。(120分)
(復習内容) 授業で学習したエッセイの中の英語表現と内容を復習する。(120分)
11. Unit 5 Culture and Values: ICC activity & Discussion
(予習内容) テキストU6のlearning-upエクササイズとエッセイのリスニング練習・読解課題、次回のクイズの準備。(120分)
(復習内容) 授業で学習した演習の中の英語表現と内容を復習する。(120分)
12. Unit 6 Culture and Perception: Reading & Exercises
(予習内容) テキストU6のディスカッション課題、次回のクイズの準備。(120分)
(復習内容) 授業で学習したエッセイの中の英語表現と内容を復習する。(120分)
13. Unit 6 Culture and Perception: ICC activity & Discussion
(予習内容) テキストU8のlearning-upエクササイズとエッセイのリスニング練習・読解課題、次回のクイズの準備。(120分)
(復習内容) 授業で学習した演習の中の英語表現と内容を復習する。(120分)
14. Unit 8 Stereotypes: Reading & Exercises
(予習内容) テキストU8のディスカッション課題、次回のクイズの準備。(120分)
(復習内容) 授業で学習したエッセイの中の英語表現と内容を復習する。(120分)
15. Unit 8 Stereotypes: ICC activity & Discussion
(復習内容) 授業で学習した演習の中の英語表現と内容を復習する。定期試験の準備。(240分)

* 授業の進捗状況により内容を調整することがある。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

その日の授業内容に応じて、上記を適宜採用する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースでは英語学習を通して、円滑な異文化間コミュニケーションに必要な知識とスキルを修得する。これは「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成するという本学の全学共通科目の目標と一致している。また、読解練習を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき資質・能力の育成につながる。これらの能力は異学部生に求められる各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済に関する情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業に関する質問は随時受け付け、授業中あるいはキャンパスクロスを通じて回答する。受講生からの提出物を添削し、フィードバックを行う。

実務経験の有無及び活用

備考

教科書を購入しなければ課題を提出できないので、履修登録後、すみやかに購入手続きをすること。前掲のように、教科書がないことにより生じる不都合は自己責任となる。授業に関する連絡事項は必ずキャンパスクロスを通じて行う。